

高難度新規医療技術審査部

1. スタッフ

部長（兼）教授 土岐 祐一郎

副部長（兼）病院教授 1名

（兼任を含む。）

（令和2年4月1日より部長（兼）教授 新谷 康）

2. 活動内容

医療法施行規則の改正に伴う特定機能病院における承認要件の見直しへの対応として、高難度新規医療技術を用いた診療を提供するに当たり、その適否を決定する部門である「高難度新規医療技術審査部」を、平成29年3月に設置した。それに伴い既存の先進医療審査会を廃止したが、その小委員会である高度先進医療小委員会の業務についても、高難度新規医療技術審査部に継承された。

業務内容としては、診療科長から高難度新規医療技術を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認をするとともに、高難度新規医療技術評価委員会に、当該高難度新規医療技術を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。

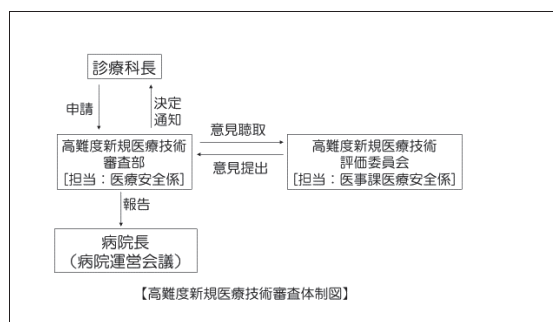
また定期的及び術後に患者が死亡した場合など必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われているか、診療録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。

他の業務としては、従前の高度先進医療小委員会で諮られていた、先進医療に関する新規届出の承認や変更・取下げ等の確認を行う。

3. 活動体制

高難度新規医療技術を用いた診療の提供の適否を決定する「高難度新規医療技術審査部」と高難度新規医療技術を用いた診療の提供の適否等について意見を述べる「高難度新規医療技術評価委員会」で審査から決定までを行う。事務担当については医事課医療安全係が担当する。

高難度新規医療技術審査部の円滑な運営を図るため、高難度新規医療技術審査部運営部会を年2回程度開催する予定にしている。



4. 活動実績

平成31年4月1日から令和2年3月現在で、高難度新規医療技術の提供に関する申請が5件あり、全て承認された。

5. その他

令和2年3月に高難度新規医療技術審査部運営部会を開催し、申請案件の事後評価を行い、翌月の病院運営会議にて結果を報告した。また平成29年度から新たに始まった特定機能病院間相互のピアレビューにおいて、令和元年度は鳥取大学による高難度新規医療技術の体制についての訪問調査が行われた。